



エコ・ファーストの約束

～環境先進企業としての地球環境保全の取り組み～

平成20年11月11日

環境大臣 齊藤鉄夫 殿

住友化学株式会社
代表取締役社長

米倉弘昌

住友化学株式会社は、化学企業のリーディングカンパニーとして「適切な化学物質管理を基本」に据えて、法令遵守の徹底はもとより、製品の全ライフサイクルにわたって「安全・環境・健康・品質」を確保し、対話を通じて社会からの信頼を深めていく、事業者の自主的活動(レスポンシブル・ケア活動)を一層推進するとともに、地球社会の持続可能な発展に貢献するため、以下の取り組みを進めてまいります。

1. 化学物質管理とリスクコミュニケーションを適正かつ積極的に推進します。

- 社会の皆様が当社製品をより安全、より安心にお使いいただけることを目的として、2016年度までに、住友化学が年間1トン以上製造あるいは販売している全製品の安全性に関する情報の再評価に努め、2020年度までに適切なリスク評価を実施します。
- 世界の化学企業と連携して、「高生産量化学物質(HPV)の安全性の自主点検」や「人の健康や環境に及ぼす化学物質の影響に関する自主研究」などに参画し、化学物質の安全性の向上に取り組めます。なお、当社がリーダーとなり取り組んでいるHPV(全3物質)については、2010年度までに作業完了を目指します。
- 大気、水域への化学物質(PRTR制度対象物質)の総排出量について、2010年度までに2002年度比半減を達成します。
- 各事業所は自主性と創意工夫を凝らして、地域性にも配慮しながら消費者などへの「情報公開」と「コミュニケーション」の充実に努めます。

2. 地球温暖化の防止に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 全工場のエネルギー消費原単位を2015年度までに1990年度比25%改善するとともに、2015年度の自家消費する化石燃料由来のCO₂排出原単位についても1990年度比20%改善を目指します。
- 石油化学工業協会の一員として「低温排熱回収(HEART)プロジェクト」を立ち上げ、2015年度までに、石油化学プラントから排出され、今まで利用できなかった低温排熱(130℃以下)を回収し、製造プラントで再利用する革新的省エネ技術の開発・実用化を推進します。
- 物流部門でのモーダルシフトの推進や輸送容器の大型化などによる業務の効率化を図り、年平均1%のエネルギー消費原単位の改善を目指します。
- 労働組合と協働で、「家庭での地球温暖化防止に向けたCO₂排出削減」に取り組み、従業員の家庭での継続的なCO₂排出削減を目指します。

3. 循環型社会の形成に向けた取り組みを積極的に推進します。

- 廃棄物の発生抑制および再資源化に取り組み、2010年度までに産業廃棄物の埋立量を1990年度比90%削減を達成します。
- 2015年度までに国内全工場において、廃棄物の発生量に対する埋立量の割合を3%未満にします。

住友化学株式会社は、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表するとともに、環境省へ報告します。

 住友化学